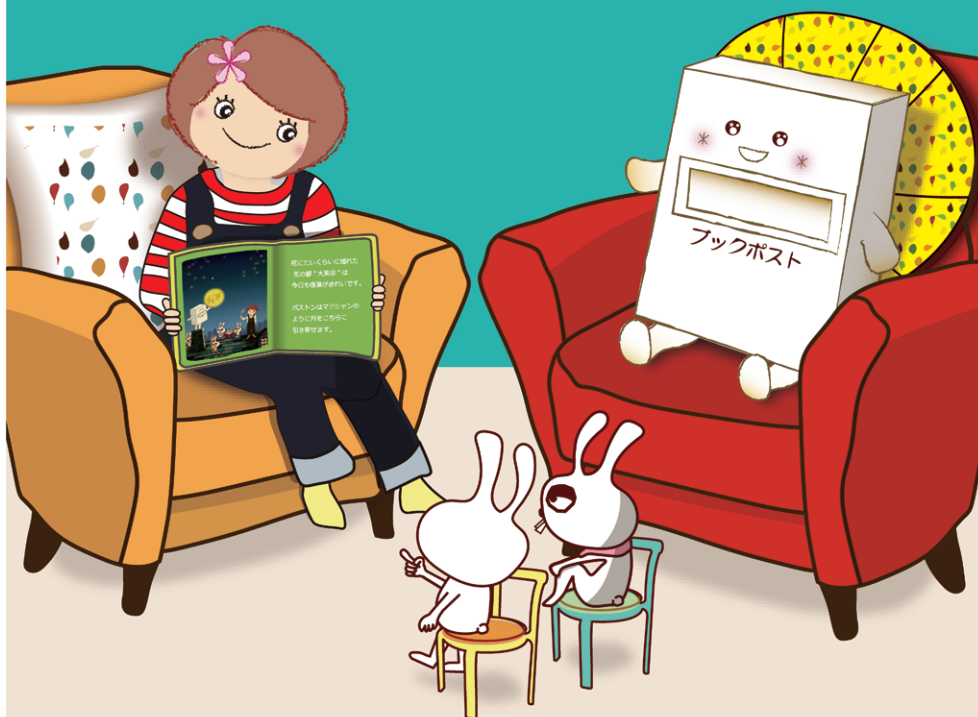


free paper ペラペラ

PECCO

Vol.51 2020.5



発行 岩手県立図書館



図書館の
中の人がかつそり教える

素晴らしい オンライン・コンテンツの世界

図書館では来館される皆様の要望に沿った情報を提供できるよう、本や新聞、雑誌、CD・DVD、マイクロフィルムなどいろいろな種類のメディアを収集しています。その一方で、図書館スタッフの日々の業務の中では、ウェブ上で公開されているさまざまなデータベースを活用する機会も多くあります。今回の特集では、いわゆる図書館の“中の人”がおすすめるデータベースを2つご紹介します。

1 国立国会図書館デジタルコレクション

<https://www.dl.ndl.go.jp/>

国内最大の蔵書数を誇る国立国会図書館（※NDL）では、所蔵資料をより良い状態で後世に残すため、デジタル化作業を進めています。その成果を公開しているのがこのウェブサイト。現在登録されている資料数はなんと、**400万点**以上！ そのうち約164万点はインターネット経由で見ることができます。 ※NDL▶国立国会図書館の略称（National Diet Library）

おすすめポイント1
数が豊富

収録されている主な資料は下記のとおり。この他にも、官報（創刊～1952年4月30日）や博士論文などが収録されており、ちょっとした図書館を軽く凌駕する点数です。



1968年(昭和43)までに受け入れた図書

約**100万点** [約35万点]

雑誌・児童雑誌など

約**135万点** [約1万点]

江戸時代以前の和古書など

約**10万点** [約8万点]

※[]内はインターネット上で閲覧できる点数

さらに!

岩手県立図書館は「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に参加しているため、全体で約316万点の資料を見ることができます。

(※点数はいずれも2020年4月時点)



おすすめポイント2
**目次情報も
検索可能**

本文は画像データですが、目次はテキストデータで作成されています。エッセイ集やアンソロジーに収録されている個別のタイトルも検索対象になっており、きめ細かな検索ができます。

郷土資料とか...

- 『遠野史叢』(1921-28)
- 『南部史要』(1911)
- 『中尊寺国宝集』(1924)
- 『盛岡案内』(1926)

『盛岡案内』では
昔の岩手公園や
市役所が見られるよ!

たとえばこんな資料が見られます

ちょっと息抜き!

- 『クロス・ワード・パズル』(1925)
田河水泡『珍品のらくろ草』(1949)
- 小星『正チャンの其後』(1926)

答えが書いてある
クロスワードが
あったよ!!

吾輩シリーズ

- 『吾輩八小猫デアル』
- 『吾輩八鼠デアル』
- 『吾輩は下戸である』
- 『吾輩は馬である』

さすが売れっ子作家。
こんなにパロディ!

さらに!

岩手県立図書館は「歴史的音源配信提供サービス」に参加しているため、すべての音源を聴くことができます。



2 歴史的音源

<https://rekion.dl.ndl.go.jp/>

1900年代初めから1950年ごろに国内で製造された初期のレコードを、歴史的音源アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化したものです。器楽、声楽、歌謡曲、劇音楽、演説など音源は多岐にわたり、その数は約5万点！ インターネット上では著作権保護期間が満了した4,900の音源を聴くことができます。

おすすめポイント1
幅広い収録内容

音源はジャンルごと18項目に分類されています。これらの中には**歌舞伎／詩吟・朗詠／落語・漫才・浪曲・講談／自然音・効果音**といった、音楽以外の音源も数多く含まれています。

おすすめポイント2
味わい深いノイズ

音源はデジタル化されているので、レコードの音域を完全にカバーしている訳ではありません。中には元の音源自体がさほど明瞭な音でないものもあります。しかし、独特の**ブツブツ**というノイズや**カスレ具合**が往時をしのばせる味わい深さをもし出しています。

たとえばこんな資料が見られます

先人の肉声

- 後藤新平『政治講演：政治の倫理化』
- 米内光政『演説：政府の所信（一）』

民謡

「南部牛追歌」「からめ節」「外山節」
※いずれも配信参加館でのみ利用可能

名人の話芸

- 柳家小さん（3代目／4代目）
- 古今亭志ん生（4代目／5代目）

文人たちの自作朗読

与謝野晶子／齊藤茂吉

聞いてみたいものが
いっぱい！みんなも
ぜひアクセスしてみよう!





イーハトーブ釣り倶楽部

村田久 著 / 山と溪谷社 出版

遠野や西和賀など、主に岩手の溪流で釣り人が出会った人や魚とのふれあいを描きます。1993年から2000年に書かれた第一部に加え、著者自身の釣り半生を振り返った「追憶の遠野行」、書き下ろし「蝉しくれ」からなる第二部を収録。2001年に小学館から発行された書籍に新原稿を加え、文庫化しました。



東北民間信仰の研究^[上]_[下]

岩崎敏夫 著 / 名著出版 出版

家の庭先や、背戸にまつられる小祠を中心に織りなされる信仰の研究を出発点とした著作集です。上巻は東北地方の民間信仰の特質・観念などについて論究し、下巻は祭の祖型を論究、そして巫女や通過儀礼といった東北の民間信仰の研究課題について解説します。1982、83年に発行された図書の新装版です。



宮沢賢治の地学実習

柴山元彦 著 / 創元社 出版

ケンジ先生と動物の生徒たちとの会話形式で、宮沢賢治の作品等に描かれている地学の世界をひもときながら、関連する地学の基礎知識を解説します。屋外実習や学習施設、実験を豊富に紹介しています。2017年発行「宮沢賢治の地学教室」の応用編です。

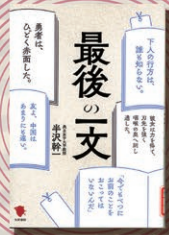


投げない怪物

佐々木朗希と高校野球の新時代

柳川悠二 著 / 小学館 出版

今、高校野球の現場で何が起きているのか？2019年夏の岩手大会に密着した著者が、令和の怪物・佐々木朗希選手の登板回避の裏側に迫ります。強豪校の監督、選手、スカウトらに取材を重ね、激変する現場の実態を描写します。



最後の一文

名作の終わり方の謎を解く

半沢幹一 著 / 笠間書院 出版

芥川龍之介「羅生門」、中島敦「山月記」、向田邦子「かわうそ」…。学校教科書に載っているものを中心に、主に近代以降の日本の短編小説を取り上げ、最後の一文を紹介します。名作の終わり方の謎を解き、小説の読み方の一つを示します。著者は岩手県出身です。



津波死ゼロの日本を

被災地の復興に学び

岩淵孝 著 / 本の泉社 出版

学校では津波防災教育を避難教育にとどめ「自己責任による避難教育」に単純化している。自然災害とは何かを改めて問い直し、科学的な自然災害論を踏まえた津波防災教育についての試論を展開します。『季論21』での掲載を元に書籍化しました。